

南ヶ丘小学校便り



校訓【心をみがき 体をきたえ 夢を大きく】第14号

令和3年11月11日 文責：有内 弘

【自分たちで創り上げるすばらしさ】

〈学校教育目標〉

「心豊かに たくましく 夢の実現に
向かって学び続ける子どもの育成」

今回も10月30日（土）の体育学習発表会の中から特集して便りを出させていただきます。特集の内容は、すばり

心 援 団 長

です。応援団は赤団（6年1組と5年1組）青団（6年2組と5年2組）白団（6年3組と5年3組）の3つの団で構成されました。団長を中心に短い練習時間に集中して、すばらしい演舞を完成させました。

体育学習発表会の後に、各団の団長さんに活動を振り返って、作文を書いてもらいました。それでは3名の作文を紹介します。

赤団から 「体育学習発表会への道」

6年1組 藤本華嘉

私が団長として応援団に取り組む中で、悩んだことや苦労したこと、その一方でうれしかったこともありました。今年は例年と違い体育学習発表会（午前中）という形での開催でしたが、最高学年としてみんなのお手本になりたい、そして団長として本番よい演舞をしたいという気持ちで練習に取り組みました。

応援団の練習が始まってまず最初に思ったのは「本当に団長としてまとめていけるだろうか。」という思いでした。始めの頃は初めてのことも多く、どのようにやっていけばいいか悩むこともあったけど、副団長さんの支えや去年の団長さんの姿を思い出しながら練習をしていきました。

練習を重ねていく中で、団員みんながしっかり声を出したり、動きがそろったりするようになったので、みんながんばっているんだなと私の励みにになりました。

体育学習発表会の日には緊張もしましたが、今までやってきたことを出し切るだけという気持ちで臨みました。演舞中、家族や先生方、友達の顔が見えその全員にエールを送る気持ちで一生懸命演舞をやりきりました。今回応援団長として経験したことは日頃の生活にも生かしていきたいです。

青団から

「団長として行った最後の体育学習発表会」

6年2組 入江玲美

私が団長として取り組んで感じたことは、まず応援団の全員が練習を重ねるごとに上手くなっていったことです。できない所を質問しに来たり、分からない所を空いている時間を使って自主練習したりしていました。そして、体育学習発表会当日に全学年ががんばっている姿を見て、心を打たれました。応援団では練習でそろわなかった所が初めてきれいにそろいました。後から見ただビデオで全団員が完璧にそろっていて感動しました。

終わってみればあっという間の体育学習発表会でしたが、とっても充実したものとなりました。

白団から 「最高の仲間と・・・」

6年3組 帆代悠人

待ちに待った体育学習発表会。コロナ禍で昨年に引き続き、短縮での体育学習発表会となりましたが、6年生にとっては最後の体育学習発表会でみんなと助け合いがんばることができました。

またぼくは白団の団長として力不足だったかもしれませんが、みんなの力を合わせることができた体育学習発表会になったと思います。

特に応援団では本番が一番のできだと思いました。ぼくは応援団長をして仲間とのきずなや特別な経験をさせてもらいました。歴史ある南ヶ丘小学校の体育学習発表会が無事に終わり、伝統を次の代に引き継ぐことができたことを誇りに思います。

残り少ない小学校生活ですが、団長を務めさせていただいた経験を今後に生かせたらと思います。みなさん、ありがとうございました。

★3名とも豊かな経験を通して、
自 心（自信） を付けたよう
です。本当によくがんばりました。
3名の団長に感謝と拍手を贈ります（有内）

